



日本初の国際放送77周年記念

「ほほ満月ただのお月見@検見川送信所」

Foreign Broadcast 77th

Moonlight Party at Kemigawa Radio Transmitting Station

日時: 2007年10月27日(土)午後3時～

集合: 千葉市花見川区花園 1-6-7 はなのわ広場(JR新検見川駅徒歩2分)

参加費: 無料

主催: 「検見川送信所を知る会」(代表・仲佐秀雄)

問い合わせ: 043-276-0444

<http://moleskine.air-nifty.com/photos/kemigawamusen/>

e-mail: kemigawamusen@mail.goo.ne.jp



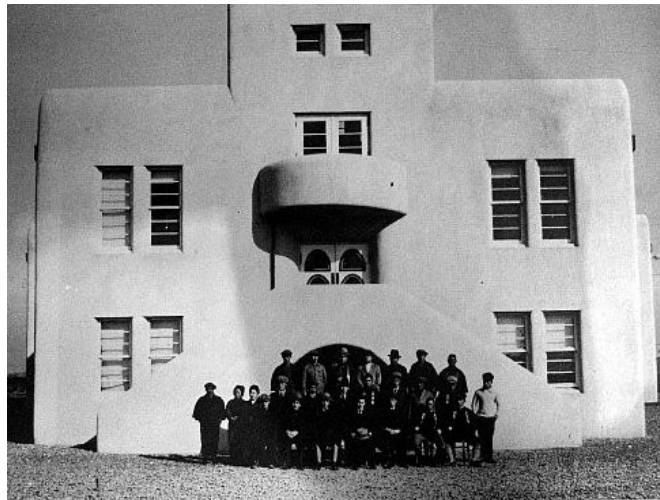
「検見川送信所ってなに？」

新検見川駅から海へ歩くこと約10分、開発中の住宅地にポツンと建っている。

「あの廃墟だよ」

「心霊スポットとして全国2位になったこともあるよ」

「無線基地だったんだよ」



設計は東京中央郵便局、大阪中央郵便局などを手がけた”日本の逓信建築の父”吉田鉄郎氏。1926年(大正15年)の完成当時は「白亜の局舎」と言われ、検見川のランドマークだった。千葉市は太平洋戦争末期、2度の大規模空襲によって全土が消失し、現在、このような大正末期のコンクリート建築はほとんど残っていません。

コールサインは日本の無線史の第1歩であることを示すJ1AA。初の純国産無線機を開発するなど日本の無線技術の発展に大きく貢献。1930年(昭和5年)10月27日夜には、ロンドン海軍軍縮条約締結を記念した浜口雄幸首相の”平和演説”をロンドン、サンフランシスコに届けました。これが日本初の本格的な国際放送となり、検見川の名前を世界に知らしめたのです。

送信所は、そんな貴重な文化遺産、近代化遺産ですが、近い将来、取り壊しが決まっています…。知っていましたか？

このイベントは知っているようで知らない検見川送信所を知的に冒険しようというもの。日本初の国際放送から77年目の10月27日、建築に詳しいゲスト、検見川送信所OBの方に送信所の知られざる姿について語っていただき、その後、実際の送信所をガイドしていただきます。当日はほぼ満月。お月見がてら出かけませんか？